



令和6年度 入学式



4月9日（火）、多くのご来賓にご臨席いただき、26名の新入生を迎える入学式を挙行了しました。新入生は初々しく、緊張した様子の中、堂々と体育館に入場してきました。これから、様々な経験を通して成長すると思いますので、とても楽しみです。

在校生も前日は、会場設営や1年生教室の飾りつけを行い、準備万端でこの日を迎えました。少ない人数ではありますが、式の中では歓迎の意味を込め大きな声で校歌を歌いました。これから、全校生徒86名と教職員で、深堀中という大きな船で1年間の航海に出発します。



歓迎の言葉 3年生

2年間、深堀中学校で過ごしてきた一人として、新入生のみなさんに伝えたいこととお話しします。1つ目は、中学校は学ぶところであるということです。中学校生活は小学校のころとは違い、勉強は難しくなり、部活動も始まります。両立することは簡単なことではありませんが、今までに体験したことのない楽しさを実感することができます。また、生徒総会や合唱祭など小学校では行っていなかった行事がたくさんあります。仲間との絆を深めながら、

同級生や私たち、そして先生方と共に一生懸命に取り組み、多くのことを学んでいきましょう。2つ目は、一日一日を大切に過ごしてほしいということです。小学校の半分の3年間という時間は、みなさんが思っているより、あっという間です。ただ何となく過ごすのではなく、多くのことを学び、経験して実りのある3年間にしてください。



誓いの言葉 新入生

中学校は3年間ということで小学校のときよりも、きっとあっというまに過ぎていくことと思います。不安もありますが、どんな毎日が待っているのだろうと期待も膨らんでいます。勉強や部活動、学校行事など初めてのことに小学校で培った「**やればできる**」の精神で積極的に挑戦し、短い中学校生活の一日一日を大切に、悔いのないよう頑張っていきたいです。

式の中で、3年生と1年生は、ともに時間の大切さについて述べていました。誰にでも一番平等に与えられているものが時間です。「**時は金なり**」、何事も明日からではなく、思いついた瞬間から実行に移しそれが定着するよう努力してほしいと願います。

※最後までお読みいただきありがとうございます。

個人情報が含まれていますので取扱いにご注意ください。